

< 特別企画 > 知って、備えて。最前線のプロフェッショナルから聞く、地震と地震災害。

明日かもしれない 教えて！東京「激震」のホント

予測されている首都直下地震を正しく理解し、
災害医療の最前線から発災時の心構えを学ぶ。

信憑性は？
予兆は？

首都直下地震
予測は「震度7」

怖い！だから
正しく知りたい。

第一部

東大地震研究所の先生、教えてください！

測地学者（地殻変動専門家）
東京大学地震研究所 助教

田中 愛幸

東京大学大学院（地球惑星科学専攻）修了後、2002年、国土交通省国土地理院 入省。在職中、2006年より1年間、ドイツ地球科学センターにて、測地学研究に従事。2008年より、東京大学地震研究所 地球計測系研究部門。理学博士。千駄木在住。

何が起きるの？
今、何ができる？

激震発生！
その時どうなる？

とまどわず、
備えたい。

第二部

災害医療の最前線から、聞かせてください！

社会医療法人財団池友会
福岡和白病院 副院長
池友会救急搬送システム部長
富岡 譲二

1986年以降、日本医科大学所属、全国の救急医療施設にて勤務。2005年より福岡和白病院。救急搬送用ヘリの専任医でもある。過去、国際緊急援助隊としてスマトラ沖地震、チリ震災等数々の災害医療現場で活動。3.11では日本DMAT隊員、福島原発事故緊急ワーキンググループ先遣隊を勤める。

2012年 4月21日(土) 13:30~17:00
予約不要・入場無料

谷中コミュニティーセンター 1階 / 大広間

住所: 台東区谷中5-6-5(初音の森 となり) お問い合わせ: 090-9492-0075(西川)



主催：谷中防災コミュニティを考える有志の会

谷中コミュニティーセンターが、防災施設機能も備える谷中防災コミュニティーセンターに生まれ変わろうとしています。震災後の防災意識が高まる今、当会は、地域施設 兼 防災施設になる新センターがより良いものになるように、地元町会や各種地域運営組織のご理解をいただきながら、住民の皆さんの声を集めて設計側へ伝える活動をしています。それと同時に、この活動の中で地域・防災をキーワードに集まった住民同士の輪を大きく広げ、万一の災害をも乗り切れる強いコミュニティ（つながり）をつくりたいと願い活動しています。

..... カンパのお願い。会場費や印刷代に使わせていただきます。